



CHASE YOUR DREAM

10月のレース結果

マイナビツール・ド・九州 2023 10月6日(金)～10月9日(月・祝)

- 小倉クリテリウム 10月6日
 - 児島直樹 優勝/窪木一茂 2位/松田翔位 12位/山本哲央 47位/橋本英也 65位/河野翔輝 81位
 - 第1ステージ福岡 10月7日
 - 児島直樹 優勝/山本哲央 51位/山下虎ノ亮 95位/河野翔輝 97位/窪木一茂 98位/松田祥位 99位
 - 第2ステージ熊本阿蘇 10月8日
 - 窪木一茂 28位/児島直樹 33位/山本哲央 50位/河野翔輝 60位/山下虎ノ亮 73位/松田祥位 DNF
 - 第3ステージ大分 10月9日
 - 児島直樹 9位/窪木一茂 40位/山本哲央 68位/山下虎ノ亮 DNF/河野翔輝 DNF
- 総合ポイント賞：児島直樹

おおいこの道クリテリウム 9月30日(土)

河野翔輝 3位/山本哲央 13位/岡本勝哉 41位/山下虎ノ亮 DNF

おおいアーバンクラシック 10月1日(日)

山本哲央 DNF/河野翔輝 DNF/山下虎ノ亮 DNF/岡本勝哉 DNF

JPRO ツアー 第3回かすみがうらタイムトライアル 10月21日(土)

松田祥位 2位/山本哲央 4位/児島直樹 8位/岡本勝哉 14位/山下虎ノ亮 18位

JPRO ツアー 第3回かすみがうらロードレース 10月22日(日)

山本哲央 優勝/松田祥位 3位/児島直樹 4位/岡本勝哉 7位/山下虎ノ亮 31位

2023 UCIトラックチャンピオンズリーグ

- 第1ラウンド マヨルカ/スペイン 10月21日(土)
 - 参加選手：橋本英也 スクラッチ 優勝/エリミネーション 5位/総合首位に
- 第2ラウンド ヘルリン/ドイツ 10月28日(土)
 - 参加選手：橋本英也 スクラッチ 5位/エリミネーション 2位/総合首位に

11月のレース予定

山口ながとクリテリウム 11月4日(土)

美祿・秋吉台カナル国際ロードレース 11月5日(日)

<https://akiyoshidai-karst.com/>

参加選手：河野翔輝、山本哲央、岡本勝哉、山下虎ノ亮

ジャバントラックカップI/II 11月16日(木)～18日(土)

参加選手：未定

JICF 国際トラックカップ 11月25(土)～26(日)

<https://jicf.info/jicf-international-track-cup/>

参加選手：未定

2023 UCIトラックチャンピオンズリーグ

<https://www.ucitrackchampionsleague.com/>

第3ラウンド：11月4日(土) /サン・カンタン・アン・イブリン/フランス

第4ラウンド：11月10日(土) /ロンドン/イギリス

第5ラウンド：11月11日(日) /ロンドン/イギリス 参加選手：橋本英也

チームブログでは、レース翌日のお昼にレースレポートを公開しています。こちらまでぜひお読みください！

<https://www.bscycle.co.jp/anchor/blog/Team-Blog/>

※出場選手は変更になることがあります。



『マイナビツール・ド・九州2023』は、福岡県、熊本県、大分県の九州3県を舞台とする3日間のUCI(国際自転車競技連合)公認の国際ロードレースです。この3日間のステージレースの前哨戦として、北九州市の小倉城周辺にて、第0ステージ・小倉城クリテリウムが行われました。小倉城の周囲を巡るこのクリテリウ

小倉城クリテリウムで児島、窪木のワンツー勝利

実りある遠征となったツール・ド・九州 児島が2連勝、ポイント賞も獲得しました！



序盤からチームは集団の先頭付近でレース展開をコントロール。特に橋本英也が先頭で備え、逃げを作らせません。残り3周、いよいよチームは5名の選手で先頭を固めます。先頭を引き続ける橋本。その後ろに続く4名のチームブリヂストン選手。

フィニッシュに向けて速度が上がり、最終300mでスプリントを仕掛けた児島直樹と窪木一茂が他選手を寄せ付けずにフィニッシュへ。ブリヂストン創業の地で、児島が優勝、窪木が2位というワンツー勝利を飾りました。

ブリヂストンロゴの入るポイント賞を児島が獲得

幸先の良いスタートとなったツール・ド・九州。第1ステージのコースは、児島の出身地であるみやま市を通り、最高峰の舞台です。そしてこのレースのポイント賞のパートナーはブリヂストン。チームもこの特別な意味を持つポイント賞の獲得に気合が入ります。

の人数は絞られていきましたが、児島は先頭で粘り続けます。「2つ目の峠のペースがとて厳しく、ちぎれてしまいがちでしたが、その後には地元のみやま市がコースでもありました。そこまでは絶対に先頭集団で行きたいという気持ちの強さで乗り切りました」(児島) 最後まで先頭で粘り切った児島、フィニッシュ前50mからスプリントで勝利します。地元の声援の中、その気持ちの強さで2連勝を成し遂げました。

児島の母校訪問



「アジア大会から帰ってきて九州に入り、レース前には僕の母校である小学校に訪問させていただきました。母校でパワーもいただいています、このツール・九州に挑んでいます」(児島)

レースに先立つこと2日前、児島は母校であるみやま市立水上小学校を訪問しました。ここで児島は、母校の後輩小学生たちに大きく激励をもらいました。

賞獲得の報告とお礼を述べます。地元皆様の応援に確かに応えられた児島、誇らしい母校報告となりました。

ブリヂストンの創業地 久留米工場を訪問



レースの翌日にチームは、ブリヂストン久留米工場を訪問しました。従業員の方々に暖かく迎えてもらい、そして児島の2勝とポイント賞の獲得を祝っていただきました。チームからは、ツール・ド・九州のボランティアを引き受けてくれた従業員の方に深くお礼を述べました。

工場内を巡ったチーム選手は、貴重な経験をさせてもらいました。ブリヂストン創業者、石橋二郎が使っていた当時の机を見せられたり、タイヤの構造を学んだり。自転車のタイヤには、航空機のタイヤにも使われる高価な材料が使われていると聞き、チーム員は盛り上がっていました。歓迎と祝勝、本当にありがとうございました。

アジア大会では4つの金メダル獲得

ツール・ド・九州に先立ち、チームブリヂストン選手が参戦したアジア競技大会(2022/中国・杭州)で2023年9月26日、29日で延期開催。ここでチームは4つの金メダルを獲得しました。男子チームバシユール、男子チームスプリント、男子オムニアム、そして男子マディソンです。中でも特筆すべきは男子マディソンでした。参戦した今村駿介は開始早々に転倒。その時に今村は鎖骨を骨折していたのが後に分かったのですが、それでも気持ちで残り190周(47.5km)を走り切った金メダルでした。



SHIMANO

WAVE ONE



OSTRICH

GARMIN

チームブリヂストンサイクリングHP
<https://www.bscycle.co.jp/anchor/team/>

